

*私たちがよみがえる時は、イエスと同じように、地上で生きた痕跡、しるしを持ってよみがえると考えられる。しかし、見た目はそうであっても、「天上のからだ」すなわち、朽ちない「霊のからだ」になっている。そのようなからだでイエス・キリストと共に神の国を相続することになるのである。

*「聞きなさい。私はあなたがたに奥義を告げましょう。私たちはみな、眠ることになるのではなく変えられるのです。終わりのラッパとともに、たちまち、一瞬のうちにです。ラッパが鳴ると、死者は朽ちないものによみがえり、私たちは変えられるのです。」

（Iコリント15：51～52）イエス・キリストが再び来られた時、ラッパが鳴る。世の終わりを告げる栄光の楽器である。そのとき、先ず死んだ者がよみがえり、生きている者は朽ちないものに変えられる。キリストは、私たちに「もう死ぬことはない、わたしと共に永遠に生きるのだ」と完全な救いを保証してくださっている。

*『『死よ。おまえの勝利はどこにあるのか。死よ。おまえのとげはどこにあるのか。』死のとげは罪であり、罪の力は律法です。』（15：54）神は永遠に死を滅ぼされることを最初から計画されていた。体の死も靈魂の死もそのもとは罪にある。律法によって私たちは罪を知ることができるが、律法には救いの力がない。「しかし、神に感謝すべきです。神は、私たちの主イエス・キリストによって、私たちに勝利を与えてくださいました。」（15：57）死に勝利されたイエス・キリストが今も生きて私たちを導いてくださっている。この方を知り、信じ、死を恐れず、神との深い交わりの中に生かされていることを感謝したい。

*「ですから、私の愛する兄弟たちよ。堅く立って、動かされることなく、いつも主のわざに励みなさい。あなたがたは自分たちの労苦が、主にあつてむだでないことを知っているのですから。」（15：58）現在私たちが住んでいる世界は悪と敵意と不安と恐れに満ちている。様々な大きな問題があふれている。そんな中でどのように生きればよいのか。それは、常に勝利の主であるイエス・キリストの上に「堅く立つ」ことである。そうすれば恐れや不安から解放される。「勝利」するには闘いが必要である。私たちは神に敵対し、私たちを神から離そうとする力（＝サタン）に対して闘わねばならないが、イエス・キリストはすでにサタンに、世に勝っている。十字架と復活がその証拠である。この方が先頭に立って私たちのために闘ってくださるからこの方についていけば必ず「勝利」がある。

「いつも主のわざに励みなさい。」いつか世の終わりが来る。その時イエス・キリストを信じる者は祝福の中に入れられる。神様が喜ばれる生き方をそれまで続けなさいと勧められている。「明日世の終わりが来るとしても、今日私はリンゴの木を植える」というマルチン・ルターの言葉のように、闘いはあるが、浮足立たないで、主と共に歩む、謙虚で落ち着いた生活を心がけたい。